

## 令和5年度 学校関係者評価委員による学校評価アンケート

評価基準	4	3	2	1
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない

	項 目	評価
1	本校では、実態に即した教育目標を設定し、その目標達成のための教育活動を実践している。	4.0
2	本校では、普通科、文理探究科、理数科の教育目標達成のために、それぞれ特色ある教育課程を編制し、実践されている。	4.0
3	本校では、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	3.8
4	本校では、日頃からいじめの早期発見・未然防止に取り組んでいる。	3.5
5	本校では、悩みを抱えている生徒の支援（個別面談、悩み相談など）に努めている。	3.5
6	本校では、指導力向上のための研修や進路情報収集を積極的に行い、生徒一人ひとりの自己実現に向けての進路指導がよくなされている。	3.8
7	本校では、生徒会活動や特色ある学校行事を通して、次世代を担うリーダーの育成に努めている。	3.8
8	本校では、Classi やホームページによる情報発信や学校だより等を通して、開かれた学校づくりを積極的に行っている。	4.0
9	本校では、可能な限り他の教育機関と連携した教育活動を実践し、成果をあげている。（探究学習・高大連携・大学講師招聘講座等）	4.0
10	本校では、PTAと連携をとりながら、積極的に保護者の要望や意見を取り入れている。	4.0

### 外部評価委員指導助言（記述）

○教育目標の達成に向けての教職員の皆様の努力が大きな成果につながっており、それが学校評価の結果に表れていると考えます。9割を超える生徒・保護者が本校へ進学して（させて）よかったと回答しています。教職員の皆様には、今後も生徒一人ひとりに目を配り、自信をもって教育活動にあたっていただきたいと思います。

また、働き方改革については、様々な取組がなされていますが、依然として教職員の満足度は8割にとどまっています。改革の取組が一層推進されることを期待します。

○学校評価や外部アンケートの結果から、先生方の意欲の高さや、生徒・保護者の満足の高さが分かりました。進学校として勉学に励みながら、特色ある多くの教育活動に取り組み、部活動でも文化・運動両分野で活躍していることは、生徒の努力だけでなく、先生方の熱意あるご指導の賜物だと思えます。ただ、先生方に負担がかかりすぎると、生徒たちの学校生活等にも影響が出ますので、時間外勤務などの負担軽減や業務改善などに一層取り組んでいただければと思います。

○いじめへの対応、悩みを抱えている生徒への対応に関して、教職員と生徒・保護者間で10～15%の乖離がありことが気になります。特に教職員の回答（4+3）が100%という点も極端です。様々な活動や取組をされている貴校だからこそ、顕在化しにくい事象にも着目していただけたらと思います。全ての生徒へというのは難しいかもしれませんが、大切な青春時代です。どの生徒にとっても母校の存在が拠り所になればいいなと思います。